

企画展

京都における

2015年 12月12日 土 ~ 2016年 3月29日 火  
開催期間

# 特別支援教育のあゆみ



「精神薄弱児」教室 (滋野尋常小学校, 1936年, 写真左上は田村一二訓導)



天才アート作品「ひみこ」  
(山元真菜子・東総合支援学校高等部3年, 2015年)



竹ひごで作った飛行機を持って (呉竹養護学校, 1960年)

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時半まで）  
休館日：毎週水曜日（祝日の場合は翌平日）、12月28日～1月4日  
入館料：大人200円 小・中・高生100円

**市内の小・中学生は、土・日曜日入館無料**

団体（20人以上）の場合は、大人160円小・中・高生80円  
※上記の入館料で常設展示と企画展示をご覧いただけます。

T E L : 075-344-1305 F A X : 075-344-1327 ※水曜休館

学校歴史博物館

検索



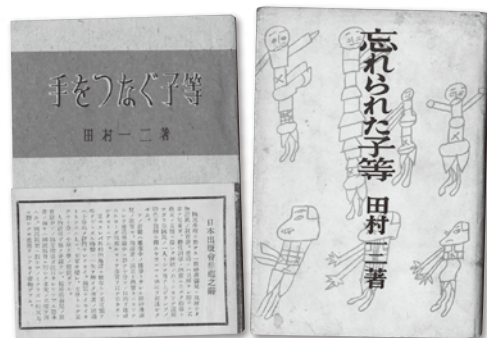
## 京都市学校歴史博物館

Kyoto Municipal Museum of School History

# 京都における 特別支援教育のあゆみ

京都における特別支援教育は、明治7(1874)年頃に小学校教師・古河太四郎が聾教育を開始したのがその始まりとされ、明治11(1878)年には京都盲啞院が開設されます。その開設130周年にあたる平成20(2008)年には、当館で開催した企画展『京都盲啞院』発!障害のある子どもたちの教育の源流』において、盲啞院にまつわる数々の貴重な史料をご覧いただきました。

一方で、知的発達に遅れのある児童の教育については、明治38(1905)年に淳風尋常小学校内に特別学級が私設され、大正11(1922)年以降は市内小学校に公的な特別学級が設置されていきます。戦後には昭和22(1947)年の学校教育法で初めて障害児の教育を受ける権利が国によって認められ、昭和31(1956)年の公立養護学校整備特別措置法成立以降、桃山小学校呉竹分校(現呉竹総合支援学校)をはじめとして計7校の市立養護学校が誕生しました。そして現在、京都市では、各養護学校は障害種別を超えた総合制の「総合支援学校」へと生まれ変わり、「総合育成支援教育」という独自の取組がなされています。このように、特別支援教育は、時代によってその呼び方だけでなく、制度や教育内容など、様々なことが遷り変わる中で発展してきました。本展では、京都市における明治30年代から総合支援学校誕生までの特別支援教育のあゆみを、様々な史料を通してたどります。



田村一二『忘れられた子等』(教育図書,1942年)  
・『手をつなぐ子等』(大雅堂,1944年)



スクールバスに乗車(1958年,呉竹養護学校)



運動場東側のすべり台(1976年,東養護学校)



京都公会館での合同音楽発表会(1970年,呉竹養護学校)



双ヶ丘中学校生との交流会で卓球バレー(1978年,鳴滝養護学校)

## 企画展関連講演会

### 特別支援教育史に「教育の本質」を探る

日時: 3月6日(日) 14時~15時30分

講師: 和崎光太郎(当館学芸員)

会場: 当館講義室 定員: 55名(申込先着順)

参加費: 無料(別途入館料が必要)

受付: 当館への電話(075-344-1305), FAX(075-344-1327),

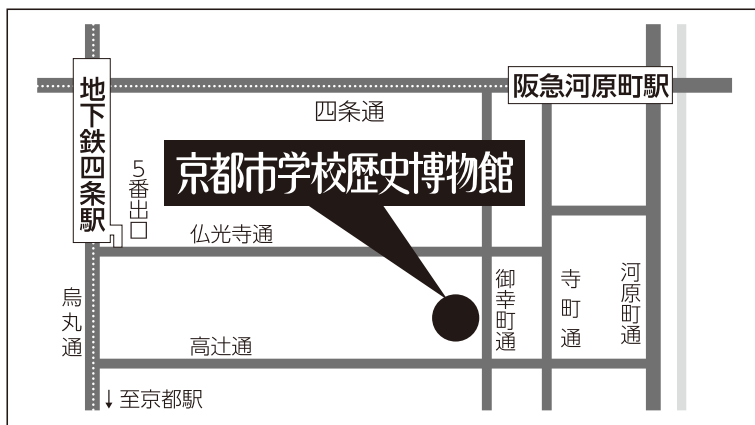
Eメール(rekihaku-jigyuu@edu.city.kyoto.jp), ハガキ。

※イベント名, 代表者氏名, 連絡先電話番号, 参加人数を明記。定員に達ししだい受付終了。

※手話通訳あり(10日前までに要予約)

学校歴史博物館

検索



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

阪急…河原町駅 徒歩約10分 10番出口「藤井大丸口」から南西へ  
京阪…祇園四条駅 徒歩約15分 3番出口から南西へ  
地下鉄…烏丸線四条駅 徒歩約12分 5番出口から東へ  
市バス…四条河原町 徒歩約10分 南西へ  
市バス…河原町松原 徒歩約5分 北西へ

## 京都市学校歴史博物館

Kyoto Municipal Museum of School History

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437

TEL.075-344-1305 ※水曜休館 <http://kyo-gakurehaku.jp>

●この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収へ